

としま包摂ネットワーク主催 地域サポーター養成セミナー

テーマ

#03

学習支援とその先

参加
無料

ゲストスピーカー



栗林 知絵子さん

特定非営利活動法人
豊島子どもWAKUWAKUネットワーク
理事長



菅原 道太郎さん

YELL for ALL 代表
豊島区意見表明支援員
エンジニア

場所

としま区民センター601・602会議室

東京都豊島区東池袋1-20-10

タイムスケジュール

14:00-14:30 「困難な子ども真ん中のまちづくり」

14:30-15:00 「子どもの学びからはじめる家族支援」

15:00-15:15 パネルディスカッション

15:15-16:00 グループディスカッション

9月3日(火)
14:00-16:00

お問い合わせ

としま包摂ネットワーク事務局

担当：長谷川・志塚・小出

toshima.housetsu.net@gmail.com

お申し込み

ご予約は、右のQRコードから

予約用フォームに必要事項を

ご登録お願いいたします。



主催：としま包摂ネットワーク

セミナー概要

「子どもの貧困」が再発見された2008年から15年以上が過ぎました。この間、地域では、子どもに対する学習支援活動が始まり、その後の「子どもの貧困対策法」の制定や子ども食堂などの活動へと広がっていきました。

この間、豊島区でも、多くの学習支援活動が始まりました。

特定非営利活動法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク理事長の栗林知絵子さんは、プレーパークでの経験から学習支援活動を始められ、現在では、子ども食堂の運営や外国ルーツの子どもたちへの支援、居住支援法人の指定を受けて住宅確保要配慮者への住まいのサポートなど、幅広く活動されています。

YELL for ALL代表の菅原道太郎さんは、塾講師やフリースクール、障がい児支援、ひとり親家庭等の子どもの学習支援などを経験された後、子育て支援のため、2023年にYELL for ALLを立ち上げられました。現在では、子どもたちだけではなく、お母さんのための学びサポート活動「YELL for Mothers」や豊島区内の母子福祉支援施設内で、施設利用者・退所者の方向けの学習会「YELL for ALL 愛の家学習会」を開催されるなど、子どもたちだけではなく、「家族」を支える活動をされています。

今回はこのお二人をゲストスピーカーにお招きし、お二人が学習支援からさまざまな活動をされるようになったきっかけや経緯、背後にある問題意識などについてお話を伺います。また、お二人のお話を踏まえ、「すべての人の『味方』と『出番』をつくる」ために、私たち「地域」には何ができるのか、参加者全員で考えたいと思います。

「としま包摂ネットワーク」とは？

としま包摂ネットワークは、豊島区で、①支援者間のネットワークを作ること、②地域のサポーターを増やすことを活動の柱として活動する団体です。豊島区内で活動する様々な支援者の方向けのメーリングリストの運用・管理や、豊島区内で地域のために活動したい、という地域の方向けに、年に4回「地域サポーター養成セミナー」を開催しています。

「地域サポーター養成セミナー」とは？

孤立した人にとって、地域に自分の「味方」や「出番」を見つけることができれば、それほど支えになることはありません。私たちは、支援団体だけでなく、地域のなかに「味方」や「出番」を作ってくれる「地域サポーター」を増やしていきたいと考えています。

「地域サポーター養成セミナー」は、参加者の方が、今、豊島にある地域の課題とリソースを知り、地域のなかに「味方」や「出番」を作るために何ができるのかを参加者全員で考える場所にしたいと考えています。